



# インフルエンザ検査機器“nodoca”を導入しました

一般的名称：内視鏡用テレスコープ  
(内視鏡用疾患特徴所見検出支援プログラム)  
販売名：nodoca (ノドカ)  
承認番号：30400BZX00101000



咽頭を専用カメラで撮影し、AIがインフルエンザの診断を行います。綿棒の痛い検査は行いません。発熱後2時間ほどで判定可能です。

デメリットとしては、撮影に数秒間かかりますので、その間しっかりと口を開けて頂きます。舌圧子が苦手なお子さんは不向きです。A型、B型の判定はできません。また発熱後48時間以上経過すると診断率は低下します。

ご希望の方は、診察時に医師にご相談ください。

匿名加工情報の作成と提供に関する公表 <https://publication.data-anonymization.jp/1111602226/information.pdf>